

福マネット

<発行日>
令和3年10月1日

第23号

「福マネット」とは「福島のカマネジャーのネットワークを深めていこう!」という思いが込められています。

巻頭言

副会長
竹田 匡志



東日本大震災から10年の節目を迎えました。この10年間、福島県に住まう私たちは、地震、津波、原発事故、水害など、多くの困難に立ち向かってきました。そして新たに、新型コロナウイルスという感染症との戦いが加わりました。

感染防止の観点から、日常的にマスク着用が定着するなど、生活も大きく変化。昨年話題となった「新たな生活様式」も、今は通常の生活様式へと変化し、すっかり定着。社会的にもテレワークやオンライン化が一気に進展、浸透しました。わずか数年前の生活からは想像もできない、驚くべき急激な変化です。

介護保険分野においても、国の施策として様々な面でオンライン化が進んでおり、私たち介護支援専門員も専門職としてITスキルが必須のものとなっています。わずか1年の間に、WebミーティングやWeb研修が、すっかり身近なものになりました。ZoomやLINEなどを利用して研修や会議に参加した経験のある方も多いのではないのでしょうか。

今年度、法定研修に通信学習の時間を取り入れて開催しています。これは集合時間短縮化により、感染防止対策の一環としておこな

うものです。今回の通信学習は感染防止対策のひとつではありますが、当会もこれを手始めとして、デジタル（オンライン）化・ICT化を進めていくこととなりました。

デジタル化には、業務効率化による膨大な事務作業の負担軽減、そして情報の発信と集積の迅速化に大きなメリットがあります。今までのアナログ的な方法が劣っているのではなく、デジタル化が全てにおいて優れているわけでもありません。それぞれのメリット・デメリットなどを見据えながら、新たな時代に向けて、体制づくりを図っていきたいと考えております。

今後も自然災害や新たな感染症、多方面でのデジタル化だけでなく、私たち介護支援専門員も直面せざるを得ない「労働力人口の減少」など、次々と大きな社会変化の波が次々と押し寄せています。これら多くの課題に立ち向かっていくためには、会員の皆様、ひとりひとりの力が必要です。今後も当会へのご協力、そして忌憚のないご意見をよろしくお願い致します。



目次

巻頭言.....	1
福マネットリレー “結”	2
介護報酬改定説明会.....	2
主任介護支援専門員更新研修.....	3
お知らせ.....	4

ハイライト

- ◆竹田副会長から皆様へ
- ◆福島市の “結”
- ◆介護報酬改定説明会の報告
- ◆コロナ禍に対応した研修の感想

福マネット リレー



福島市介護支援専門員連絡協議会

田中嘉章

福島市の高齢化率は30.0%。要介護・要支援認定者数は16,479人と高齢者の約20%の方が何らかの認定を受けている状況です。

相談支援体制は地域包括支援センター22箇所、居宅介護支援事業所数89箇所と充実しております。

当協議会の会員数は令和3年9月1日現在で156名です。

コロナ禍の中、当協議会でも新たな研修や取り組みを模索している状況にあります。新しい時代への転換点であるからこそポジティブな視点を持ち、固定観念に囚われず柔軟に学び、仕事に繋げて頂けたらと思います。

会の特徴として、研修会をYouTube配信を中心に行っている他、福島市と福島市医師会との関係

が良好で連携を取りやすいことです。福島市の長寿福祉課長と介護保険課長が役員定例会に出席され、情報提供をしてくださいます。

10月には昨年、中



止となった第10回福島市との懇談会を予定しております。テーマは「災害に備えて福島市と介護支援専門員が共通理解に立っておくべきこと」です。福島市からの話題提供と市職員がグループに1名入りグループワークを行います。顔が見える関係だけでなく、お互いの役割がわかることは、今後の連携を図る上で非常に有効であるということ、回を重ねるたびに実感しています。

「会員になるメリットは何か」とよく耳にします。「会員になる」ということは介護支援専門員一人では実現しにくいこと（研修会の開催・行政への交渉・各種団体との連携など）を進める為の大切な一歩であると思いますし、それがより良い支援をするため、また、介護支援専門員の仕事環境の改善に、繋がっていくものだと思います。

とはいえ、少しでもメリットが感じられるよう、他の地域協議会が工夫している点をお聞きし、取り入れたいと常々考えております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



令和3年度介護報酬改定説明会

ケアマネジメントグループ 星 吉典

令和3年度介護報酬改定説明会を6月4日（金）県南地域、6月26日（土）郡山地域の2地域で開催しました。2会場合わせて約50名の参加がありました。新型コロナウイルスによる影響により、マスク着用はもちろんのこと参加人数を会場定員の半分以下とし換気、消毒など感染対策を行いながらの開催となりました。

内容は、日本介護支援専門員協会が3月27日（土）にWEB開催した内容のDVDを使用し行いました。

1部：「2021年介護報酬改定から探る介護支援専門員が踏まえるべき時代の流れ」と題し、一般社団法人日本介護支援専門員協会顧問 田中滋氏より介護報酬改定の目的と手段、地域包括ケアシステム推進に資する立場から見た報酬改定項目についての解説と介護支援専門員に期待することについての説明。

2部：「令和3年度介護報酬改定について（居宅介護支援・介護予防支援）」と題し、厚生労働省熊野将一氏より居宅介護支援、全事業所共通項目についてそれぞれ改定事項の詳細について説明があ

りました。

3部：「令和3年度介護報酬改定解説と日本介護支援専門員協会の取り組み」と題し、日本介護支援専門員協会副会長 濱田和則氏より改定事項の解説と具体的な取り扱いも含め説明がありました。

内容について注意事項があり、説明された内容は令和3年3月22日時点の物であり、その後のQAなど確認すること。また、日本協会会長のあいさつの中で不明な点は保険者とのすり合わせをきちんと行い、ローカルルールを作らない様にとの注意がありました。



コロナ禍での主任介護支援専門員研修に参加して

会津本郷指定居宅介護支援事業所 横山 隆司

今回、私は、主任介護支援専門員更新研修のファシリテーターとして参加いたしました。

コロナ禍や、新しい生活様式のもと今年度より通信研修と、地域別での集合研修でした。集合研修でも録画映像を見ながらで、講師と参加者の双方のやり取りはできませんでしたが、途中、距離をとりながらのグループワークもできたことは良かったと思います。

ファシリテーターとしても研修がスムーズに進行できるように、事前の準備、資料の内容や講師先生の映像を確認し研修に望みました。講師不在のため、全体をまとめるファシリテーターのリーダーの存在も大きく、研修進行に不可欠な存在でした。

今後、コロナ禍の中で開催方法など検討が必要な部分かと思いますが、今回は地域別ということで知り合いも多く、顔の見える関係で、参加者もファシリテーターも一体となり研修できて良かったと思います。ケアマネジメントではどうしても対面で相談支援が必要な事もあります。感染対策をとりながら今後も研修会やファシリテーターを通し、介護支援専門員としてスキルアップできるよう頑張っていきたいと思っています。



磐梯町地域包括支援センター 千葉 裕希

去る8月12日13日の二日間、福島県主任介護支援専門員更新研修（集合研修前期）を受講し、その後通信学習を受けました。

私自身、更新研修は2回目の受講となりますが、今回は新型コロナウイルスの感染予防に配慮した中での開催であり、前回の受講とは違う点が多々ありました。

会場では間隔を空けた少人数のグループ設定の中、講師の先生はおらず、リモートでの講義受講。短い時間でしたが、ファシリテーターの方々の指示をもらいながら、グループでの意見交換も行いました。

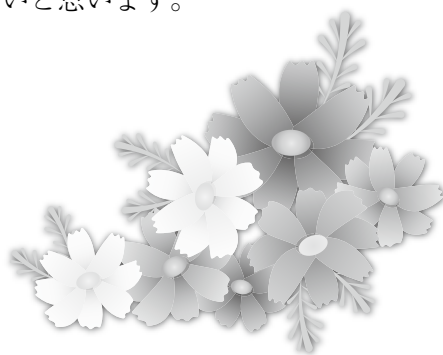
コロナ禍ということもあり、研修会場に足を運ぶことには多少の不安がありましたが、感染予防の配慮がきちんとされ、安心して受講することが出来ました。

通信学習は、感染リスクの不安が無いだけではなく、会場までの移動の負担が無い事、日々の業務の中で時間の調整をしやすい事、講義は動画を巻き戻して何度でも見直せる事等が良かったですが、あくまで個人作業になってしまうので、他の主任介護支援専門員さんの意見を聞いたり、情報交換したり出来ないことが残念でした。

更新研修を通し、自身の実践の振り返りが出来、主任介護支援専門員としての知識や技術について改めて学びなおすことが出来ました。また、主任介護支援専門員として利用者や地域のケアマネジャーや自分自身、そして地域とどう向き合っていかなければならないか、改めて考えさせられ、身の引き締まる思いがしました。

大変な状況の中、研修開催に関わって下さっている皆様に感謝申し上げます。

残る後期集合研修も集中して取り組み、研修で学んだことを今後の業務に活かして、日々自己研鑽していきたいと思っています。



介護支援専門員証有効期間の確認を忘れずに

介護支援専門員証の有効期間（5年間）を更新するためには更新研修又は専門研修の修了が必要です。

介護支援専門員としての実務経験の有無等によって、受講しなければならない研修は異なりますので、御注意ください。

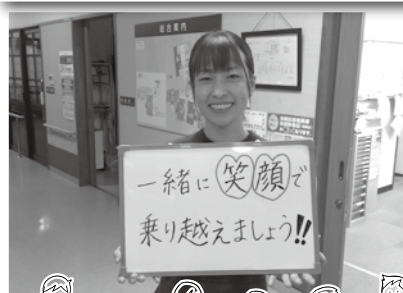
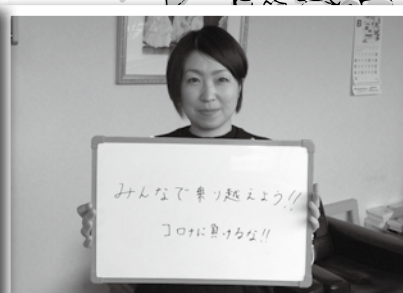
更新手続きについて、福島県高齢福祉課のHPをご確認ください。

協会主催研修についてのお知らせ

研修企画グループ長 宮尾 直木

県協会ホームページ協会主催事業のページのレイアウトを変更致します。

しばらく実施できておりませんでした。今後は各協会主催研修についてHP上で、随時ご案内する予定ですので、新着情報をご確認いただきお申し込み下さるようお願い致します。



発 行：一般社団法人 福島県介護支援専門員協会

会 長：菊地健治

事務局：郡山市新屋敷一丁目166番 SビルB号

TEL 024-924-7200 FAX 024-924-7202 <http://www.fcma.jp>

広報グループ：仁井田義弘 伊東 靖裕 本名 由美 石井むつ美 奥山 明浩 柏倉 道子

小林 悟 齊藤 真尚 佐々木香織 佐藤 一行 萩原美起子 古山ひろみ